

③災害時トイレ訓練・・・トイレが使えない時の対処法

能登半島地震の際に生活する上で一番困ったことはトイレです。水道が止まった時のトイレ確保は大事です。

様々な種類の簡易トイレや携帯トイレの見本を提示していただきながら、災害時のトイレの対処法を学びました。

あらためて簡易トイレや携帯トイレ、凝固剤などを家に常備しておくことの重要性を痛感しました。



④非常時持出品・重量体験訓練・・・持出品リストの説明と実際のリュック体験

非常時持出品は、実際に持出品を展示していただき、それぞれの説明を受けました。想像以上にたくさんの品物があることがわかり、実物を見ることや手に取ることの大切さを感じました。定期的なローリングストックの必要性も教えていただきました。重量体験では、5キロや10キロの防災リュックを背負い、重さを体感しました。避難の際の重量チェックは大事です。



午前11時20分 閉会・防災訓練のまとめ

東消防署・多々良消防分団・博多あんあんリーダー会の皆さんから訓練の総括、そして防災の心得などの講話をいただきました。今日の訓練で学んだことや体験したことを家族や近隣の皆さんへ広めてほしいとお願いがありました。防災の基本は自助・共助であり、特に「自助」（在宅避難）の重要性を教えていただきました。



具体的には、災害用備蓄品や非常食の準備ができています。様々なストレスが溜まりやすい避難所よりも、ふだんから避難時でも安心な自宅にしておくことが大切です。そのことができて、近隣同士の「共助」や校区レベルの避難所開設があることを確認しました。

まさに『備えあれば憂いなし』につながる訓練でした。



あ・お・ば 校区の合い言葉☆

あ・・・ありがとう お・・・おかげさまで ば・・・ばんじおっけー

いつも感謝の心もち、お互いを思いやるリスペクトの声を掛け合っていけば、すべてうまくいきます。まさに『ありがとう、おかげさまで、ばんじおっけー』です。子どもたちにも『あ・お・ばの合言葉』が広がっています。本当にうれしい限りです。